



KUMIHIMO
*Hito*MI

WORKS 2019-2021



*Hito*MI
<http://h-ito-mi.jp>



Hitomi

WORKS 2019-2021

P.4 Belief in Cocoon / P.5 Belief in Threads / P.6 Painting / P.7 Coloring

P.8-9 KAGARI-triangle / P.10 KAGARI-spiral / P.11 KAGARI-bokashi

P.12-13 KAGARI-yurugi / P.14 KAGARI-flag / P.15 KAGARI-genji

P.16-17 Randoseru / P.18-19 Profile

Belief in Cocoon

繭への想

2018年から私の手元に繭(群馬県産・長野県産)が集まってきました。

2019年真綿作りの経験を経てその後養蚕から糸になるまでの工程を知りました。

「糸になる前の養蚕から関わってみたい。タイにあるタイシルクも知ることができたが私は、やっぱり日本が好き。日本で学びたい。」その想いがどんどん強くなりました。

群馬県に養蚕の学校があることを知り、2021年に母子で日本(群馬県)へ本帰国することを決めました。この想いを現実にします。



Belief in Threads

糸への想

写真中央の糸は、初めて繭を煮て引いた糸。繭糸になるその過程を知り興味が出ました。

【お蚕さんの卵から販売まで】

蚕種(卵)↓お蚕さん↓繭↓生糸↓製糸↓撚糸↓精錬↓経切り↓染色↓組む↓房の仕上げ↓完成↓販売

私は、ものができる最初から関わり作りたい想いが強い。「お蚕さんを育て、糸を作ってみたい。」

今は理由が分からなくても、その過程にも意味があり、やりたいと思うものには必ず理由があるから。経験し、答えを出していきます。

絹糸を扱い、身につけることは、心を豊かにし、自身の活力にもなります。お蚕さんの糸の力を信じています。

Painting

描くこと

私にとってのライフワーク
描くこと＝瞑想時間
心を整える時間

目をつむり見える色を紙に映し
出す。自分の中のものを外へ出す
表現の一つ。

タイに来て金色が私の中に入っ
てきました。今までになかった鮮や
かな色を描き、染色へ活かします。

水と絵具が混ざる瞬間がとても
好き。お気に入りの紙はアルシュ
紙荒目。荒い紙の表面を色が滲み
混ざり合う。その感じが最高に心地
よい瞬間。乾いた後に色味と表情が
違うのも魅力的なところです。

染色と水彩画の関係は、水と染料、
水と絵の具が混ざり合う感覚は、
色を決めるときに活かしています。



Coloring

染めること

素材と向き合いイメージを糸へ染め
映すこと。糸に色の力を加える大切
な時間。

【写真1／精錬】糸の汚れやセリシン
を取り除き、好みの風合いにする
工程。

【写真2／経切り（へきり）】組む為
の糸を準備をする工程。組み方、玉数
（重り）、仕上りの長さを割出し、
経切り台にて長さを合わせ、束ねた
糸を計り、結び切る。

【写真3／染色（ぼかし染め・単色
染め）】染料を調合、ぼかし染めは
色を染め重ね、グラデーションを
作る工程。染色後、水洗、色止め、乾燥
する。

【写真4／組紐を組む】糸を整え、
木製の重りに糸を巻き付け組む。
角台、丸台、綾竹台を使い分け制作
する。



写真1

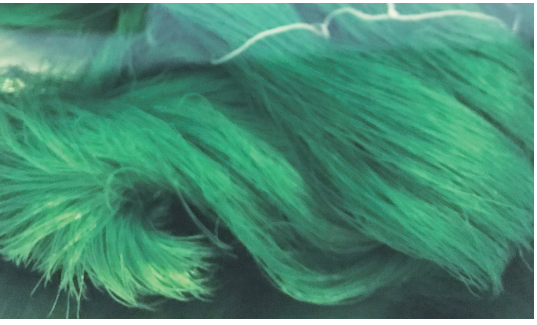


写真3

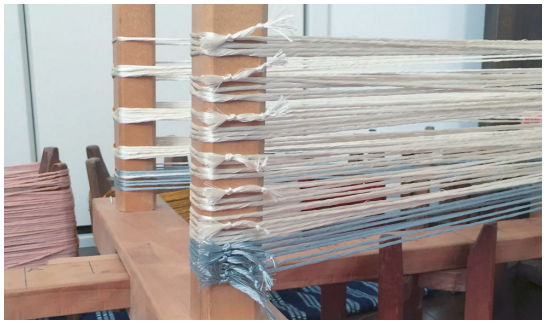


写真2

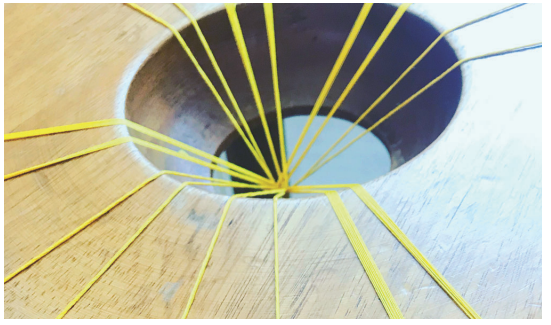


写真4



KAGARI - triangle カガリートライアングル

糸を染め、紐を組む、心地よい状態から生まれるもの。「とっても綺麗だね。美しい。」そう感じながら作っています。愛でる作業から生まれました。

【ピアス】房のないシンプルな形の金具に「組込み」という技術を使い金具と組紐を一体となるよう仕上げ「かがり」という手法を応用し、紐の先端同士をひと針ひと針、力加減を調節しながら、縫い付けています。

【プレスレット】金具を使わずに結びで調節できるように仕上げ、1・5mm紐のなかに、金糸を組み込み彩りを加えました。

素材：絹糸、金糸、金具

寸法：【P】W10×D15×H33mm

【B】周囲150、300cm、Φ1mm

技法：ぼかし染め、組込み、かがり

【P】綾竹台鎌倉組【B】角台変ハツ組

玉数：【P】20玉【B】8玉

金具：K18イエローゴールド(制作/毛利瑠子)

制作：2019年



左：ピアス[P] 右：プレスレット[B]



左:ネックレス[N] 右:ブレスレット[B]



左:ネックレス[N] 右:ブレスレット[B]



左:ブレスレット[B] 右:ネックレス[N]

KAGARI - spiral カガリースパイラル

【ネックレス】DANの二重螺旋を
思わせる曲線が特徴的な作品です。
グラデーションの色の美しさと組の
繊細さを兼ね備えた作品に仕上げ
ました。とても優しい、華やいだ雰
囲気を感じます。

四つ組という基本的な組み方ですが
紐を交差するときに、重りを外し
再度取り付ける作業を繰返し出来
上がりました。

【ブレスレット】ネックレスと同じ
グラデーションの糸を使い仕様を
変えて組み上げています。「ぼうき
房」という技法を使い黄色とゴー
ルドを使いアクセントにしてい
ます。

素材：絹糸、金糸

寸法：【N】周囲680〜690mm、φ1mm

【B】周囲155〜30cm、φ3mm

技法：ぼかし染め

【N】角台変わり四つ組

【B】四つ組、ぼうき房

玉数：【N】4〜8玉 【B】4玉

制作：2019年

KAGARI - bokashi

カガリーボカシ

【ネックレス】美しい曲線と房が
ないことが特徴的な作品です。組み
ながら重りのバランスを変え、張り
の強い紐に仕上げました。手組み
ならではの強さがあります。

頭を通し身に付けることができ、
通常の組紐の両端にある房のお手
入れが不要です。手首に巻けばブレ
スレットにもなります。

【ブレスレット】結びで調節できる
ように仕上げました。1mm紐の
なかに、金糸を組み込み彩りを加え
ました。美しいグラデーションが
特徴的な作品です。足首に付けると
アンクレットにもなります。

素材：絹糸、金糸

寸法：【N】700mm、φ4mm

【B】周囲155〜30cm、φ1mm

技法：【N】丸台奈良組 【B】角台丸八ツ組

玉数：【N】16玉 【B】8玉

制作：2019年



KAGARI - yurugi カガリーユルギ

鮮やかな色と金糸が特徴的な作品です。身につけると凛とした気持ちになる。シンプルな組み方で色をアクセントに。格の高い組み方の冠組（ゆるぎ）を使用しています。

着物を着た時と似た感覚。とても力が湧きます。理由は、養蚕から着物になるまでの工程に沢山の手仕事と職人魂があるからだと感じます。

直感を大事にあなたの感じた色を選び、お守りとして身につけ感じてください。ご自身の波長に合う色を人生にお役立てください。

素材：絹糸、金糸

寸法：「上」周囲(S)16cm (M)18cm (L)19cm、各φ4.5mm

「下」周囲(S)16cm (M)18cm (L)19cm、各φ2mm

技法：かがり

「上」丸台冠組（ゆるぎ）

「下」角台角ハツ組

玉数：「上」16玉 「下」8玉

制作：2020年





左:ピアス[P] 右:プレスレット[B]

KAGARI - flag カガリーフラッグ

タイの国旗の青白赤を使用し制作しました。

色と意味について。青は「王室」、白は「宗教」、赤は「国家、国民」。

王室を中心に、仏教と国家国民がある。この国のいい所は、自分のことを愛するのが上手で人に優しく、微笑みがある。タイの思い出をここに記します。

【プレスレット】断面が四角い組紐になりシャープな印象を与えます。ピアスと同じ組紐と色合いにて制作しました。

【ピアス】房があるのが特徴で、仕上げに金糸を使い、結びで調節できる形に仕上げています。

素材：絹糸、金糸

寸法：「P」W10×D30×H40mm

「B」周囲160×300、Φ1.5mm

技法：「P・B」角台丸ハツ組

玉数：「P・B」8玉

制作：2019年

KAGARI - genji カガリーゲンジ

組紐らしい古典柄と金糸が特徴的な作品です。組紐は、甲冑、刀紐、和装厄除け、お守りなどに使われてきました。

中でも甲冑は、戦で身を守るために強く、権威の象徴としてより艶やかに用と美を兼ねた芸術品として発展しました。

現代を生きる私が、先人の知恵と想いをプレスレットにしました。

武士の身を守り、無事に帰ることを祈るように、私はあなたの生き方に寄り添い応援します。直感を大切に、自分を愛してあげてください。お守りとして身に付け感じてください。

素材：絹糸、金糸

寸法：「S」160mm(M)180mm(L)

190mm、各Φ7mm

技法：かがり、丸台丸源氏組

玉数：16玉

制作：2020年



Randoseru

ランドセル(引き手部分)

過去に制作しました引き手が、6年
使用したにも関わらず、綺麗なまま
でご利用いただいたご報告があり
再度ご依頼いただきました。

私は、サンプル作成、染色、組紐制作
依頼、管理を担当し、日本の職人
さんが十ヶ月もの制作期間を経て
組紐の引き手が完成しました。

革と組紐の二つの素材はお互いに
高めあう、品格のある素材で相性
抜群です。

子供達に日本の伝統工芸の組紐を
知ってもらう機会になることと、
今も技術を繋ぎ制作をしてくださる
日本の職人さんへも感謝いたし
ます。

素材：絹糸

寸法：W9×D35×H50mm

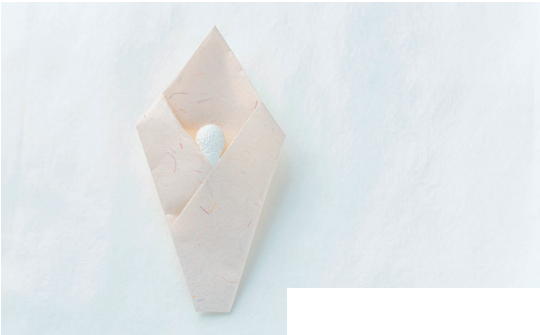
技法：綾竹台鎌倉組

玉数：20玉

制作：2020～2021年



聖徳太子の時代から甲冑、神道の道具、
衣装、厄除けなどに使われてきた組紐。
想いや願いを兼ね備えたもの。
お蚕さんの糸の恵みと色や組紐が力に
なると信じています。
身に付けることで自信を持ち、
お守りとして身を守り、
これからを力強く歩んでいけるように。
「私はあなたの力になりたい。」
あなたらしい人生を歩んでください。
私はあなたを応援します。



組紐アーティスト
Kumihimo Artist
伊澤ひとみ
Hiomi Isawa

【E-mail】 isawa.hiomi33@gmail.com
【Web】 <https://www.h-itto-mi.jp>
【Instagram】 [@isawahitomi](https://www.instagram.com/isawahitomi) (食・運動・組紐)
@h.itto-mi (Hiomiブランドカタログ)
【Facebook】 <https://www.facebook.com/isawahitomi/>



〈経歴〉

- 1980年 ●北海道旭川市生まれ
- 2000年 ●女子美術短期大学生活デザイン学科
テキスタイルコース卒業
- 2004年 ●武蔵野美術大学造形学科
工芸工業デザインテキスタイル卒業
- 横塚石鳳師匠の元へ弟子入り
- 2017年 ●くみひも工房 オープン

〈展示・個展〉

- 2001年 ●四人展(ギャラリー無寸草)
- 2005年 ●9展(目黒区美術館区民ギャラリー)
- デザインフェスタに出店(ビックサイト)
- 2006年 ●田嶋ひとみ展「伝統と現代の手染め組みひも」
(ギャラリーエル・ポエタ)
- くみひも 田嶋ひとみ展(風かおるcafeあうる)
- 秋の装・和音(Tea & Gallery 花影抄 東京都)
- 2019年 ●アイロ展・巡回展(徳島・東京・軽井沢)

〈掲載〉

- 2007年 ●ファッション誌「SoSe」月号「組紐職人として
求人広告誌「ガテン」ザ☆ガテンな女掲載
- 2004年 ●師匠と共に埼玉県立博物館にて実演
- 2004年 ●小・中学校、大学で体験講座の助手
- 2004年 ●組紐引き手制作

〈その他活動〉

- 2006年 ●京都高島屋6階にて実演
- 2007年 ●京都高島屋1階エントランスホールにて実演
- 伊勢丹新宿7階催事場にて実演
- 横浜高島屋にて実演
- 2015年 ●2016年度ランドセル組紐パーツ(前バンド)制作
- 組紐体験・お教室開始
- 2016年 ●2017年度ランドセル組紐パーツ(前バンド)制作
- 2017年 ●2018年度ランドセル組紐パーツ(前バンド)制作
- 軽井沢にて工房移転・オープン
- BSジャパン「リアラク」テレビ出演
- 2018年 ●3月5日タイへ移住
- お茶会と展示イベント企画(cocage・cafe・軽井沢)
- 組紐体験2日間(軽井沢ニューアートミュージアム)
- 組紐体験&ランチ会(Mogin@長野県御代田)
- 組紐体験&ランチ会(彩-Irrotori 保健室@群馬県)
- make upセミナー企画開催(@タイバンコク)
- 発酵食品のイベント企画開催(@タイバンコク)
- 組紐体験(Kissataica @タイバンコク)
- 発酵食品のイベント企画開催(@タイバンコク)
- 2021年度ランドセル組紐引き手制作
- 2022年度ランドセル組紐引き手制作
- 養蚕をやるための群馬県へ本帰国
- ぐんま養蚕学校へ入学

デザイン／鈴木あゆみ (annuence art & design)
写真／田嶋久美子 (Advertising STUDIO WORK)
英訳／伊澤奈那